


東京都地域ケア会議推進部会のまとめ  
～地域包括ケアシステムの構築に向けて～

平成26年3月

 東京都福祉保健局

# はじめに

東京では、急速に高齢化が進展しており、団塊の世代が後期高齢者となる平成37年（2025年）には、高齢者数が332万人に達すると推計され、都民の4人に1人が高齢者となることを見込まれています。また、同時に、高齢者の一人暮らしや高齢者のみ世帯が増加していくことも予測されています。

多くの高齢者は可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けることを望んでおり、そのためには、住まい、生活支援、医療、介護、予防といったケアを地域で一体的に提供していく「地域包括ケアシステム」の構築を推進していくことが重要です。

高齢者が住み慣れた地域で尊厳を保持し、その人らしい生活を送ることができるよう、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備を行うための会議体が「地域ケア会議」であり、地域包括ケアシステムを実現するための有効な手法の一つです。

地域ケア会議は、昨年3月に国が運営マニュアルを示し、今後、介護保険法（平成9年法律第123号）で制度的にも位置付けられる予定ですが、都内区市町村においては、地域の実情に応じて様々な考え方や形式で開催されているのが現状です。

地域包括ケアシステムを構築していくためには、区市町村や地域包括支援センターが地域ケア会議の目的や機能を正しく理解し、地域の実情に応じて地域ケア会議を効果的に開催していくことが求められています。

そのため、都では、今年度、高齢者保健福祉施策推進委員会に地域ケア会議推進部会を設置し、都内区市町村の地域ケア会議の開催状況等について調査するとともに、東京にふさわしい地域ケア会議のあり方について、議論、検討し、区市町村が地域ケア会議を開催する際の手引きとなるよう、この報告書を取りまとめました。また、地域ケア会議推進部会にケアマネジメントの質の向上分科会を設置し、地域包括ケアシステムの構築に向けたケアマネジメントの質の向上を図るため、介護支援専門員が地域ケア会議で事例提出者となる場合に活用するシートを作成し、本報告書に掲載しました。

本報告書を活用し、それぞれの地域で効果的な地域ケア会議が開催されることを願ってやみません。

平成26年3月

東京都福祉保健局

# 目 次

第1章	都内区市町村における地域ケア会議の現状について・・・・・・・・・・	1
	(平成25年度アンケート調査結果まとめ)	
1	調査の概要・・・・・・・・・・	1
2	区市町村向け調査の集計結果・・・・・・・・・・	2
3	地域包括支援センター向け調査の集計結果・・・・・・・・・・	19
第2章	東京都における地域ケア会議の効果的な運営に向けた視点について・・	29
1	東京都における地域ケア会議の望ましい姿について・・・・・・・・・・	29
2	地域ケア会議の効果的な運営に向けた視点について・・・・・・・・・・	33
3	地域ケア会議の効果的な運営に向けた区市町村の役割について・・	36
第3章	地域ケア会議の実践例について・・・・・・・・・・	39
1	立川市における地域ケア会議の取組のポイント・・・・・・・・・・	39
2	国分寺市における地域ケア会議の取組のポイント・・・・・・・・・・	63
3	府中市「地域包括支援センターこれまさ」における地域ケア会議の取組 のポイント・・・・・・・・・・	79
第4章	資料・・・・・・・・・・	85
1	「保険者と介護支援専門員が共に行うケアマネジメントの質の向上ガイ ドライン」掲載の「リ・アセスメント支援シート」と「ケアマネジメン トの課題整理シート」について・・・・・・・・・・	87
2	平成25年度地域ケア会議に関するアンケート調査 調査票（区市町村 ・地域包括支援センター）・・・・・・・・・・	98
3	地域ケア会議推進部会 委員名簿・・・・・・・・・・	109
4	地域ケア会議推進部会 検討経過について・・・・・・・・・・	110